

いゅうがく館だより

令和4年2月号



ヒカンザクラが見ごろとなった今日この頃。遠目からでも濃いピンクが素敵ですね。

大賞作品発表!

【短歌部門】 生野 明美 さん

退職と 還暦祝い おめでと
う
子や孫からの 夫へサプライズ

【俳句部門】 戸口小学校 4年 大茂 斗真 さん

おちばには むしがマンション つくってる

【川柳部門】 龍南中学校 3年 泉 愛子 さん

いつからか 私の呼び名は 「受験生」

【学校賞】 龍北中学校

今年は短歌 313 首、俳句 443 句、川柳 297 句、計 1,053 点のご応募がありました。ご協力いただきました各学校の先生方、毎年このコンクールを楽しみに作品をお寄せくださる町民の皆様方にも厚く御礼申し上げます。

第19回 龍郷町 短歌・俳句・川柳 コンクール

おしらせ

いゅうがく館では、令和4年度生涯学習講座の受講申し込みを受け付けております。受講を希望される方は申込用紙にご記入の上、いゅうがく館へお持ちください。開講講座の一覧や注意事項についてはお配りしているチラシまたは役場ホームページをご覧ください。皆様のお申し込みをお待ちしております。

~ 新着図書案内 ~

《一般書》

- 『護られなかった者たちへ』(中山 七里/NHK 出版)
- 『夢見る帝国図書館』(中島 京子/文藝春秋)
- 『これが日本の正体!』(池上 彰/大和書房)
- 『デジタル遺品の探しかた』(伊勢田 篤史/日本加除出版)
- 『心とカラダを整えるおとなのための1分音読』(山口 諤司/自由国民社)
- 『果実とハーブのお酒とシロップ』(田端 永子/八月社)
- 『たった一言で部下が自分から動くすごい伝え方』(稲場 真由美/WAVE 出版)
- 『世界の少数民族』(イアゴ・コラツツァ/日経ナショナルジオグラフィック社)
- 『ラクしてうまくいく生き方』(ひろゆき/きずな出版) 他

《児童書》

- 『解きたくなる数学』(佐藤 雅彦/岩波書店)
- 『マイクラフト なぞの日記』(ムア・ラファティ/竹書房)
- 『でんぐりごろりん』(ふくだ じゅんこ/大日本図書)
- 『ラスト・ゲーム』(高倉 かな/スターツ出版)
- 『教室に並んだ背表紙』(相沢 沙呼/集英社)
- 『ピラミッドのサバイバル 1』(洪在徹/朝日新聞出版)
- 『おふるだ〜いすき!』(レスリー・パトリセリ/パイインターナショナル)
- 『大人は知らない今ない仕事図鑑100』(「今ない仕事」取材班/講談社)
- 『じゅうにしどこいくの?』(すとう あさえ/ほるぷ出版) 他

今月のおすすめ本

《一般書》

『昆虫館はスゴイ!』(全国昆虫施設連絡協議会 /repicbook)

全国各地の昆虫館で働く昆虫マニアのスタッフたちが虫についてアツク語ります。変わった虫の紹介から、魅力、飼育員のスゴ技、昆虫館の裏側まで、濃い内容がたっぷりです。『世界のインディゴ染め』

(カトリヌ・ルグラン/パイインターナショナル)

シーズンから久留米編まで、世界各国のインディゴ染めを網羅。歴史や文化にも触れながら、写真と共に解説します。

《児童書》

『あんなにあんなに』(ヨシタケシンスケ/ポプラ社)
お父さん、おかあさんへ、おじいちゃん、おばあちゃんへ
おすすめしたい絵本です。くすっと笑えるような、ほっこり
するような、ちょっと寂しいような、そんなお話。

『答えは風のなか』(重松 清/朝日出版社)
この気持ちは、なんだろう? 家族、友達、社会。胸がぎゅっ
と苦しくなったとき。ミロコマチコさんの絵と共に子どもた
ちへ贈る短編集。

